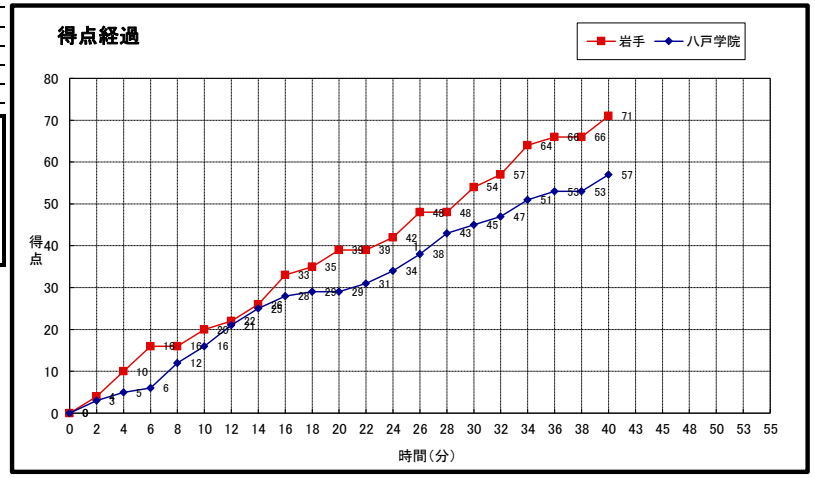
大会名称: **第25回東北大学バスケットボールリーグ**
兼全日本大学バスケットボール選手権大会 東北地区予選会

開催場所: **東北学院大学泉キャンパス体育館**
試合区分: **No. 0908A2　　1次リーグ男子**
期　　日: **2024/9/8(日)**　　主審: **田中直幸**
開始時間: **12:00**　　副審: **塩田幸樹**
副審: **日置太陽**

岩手	○ 71	20 -st1- 16 19 -2nd- 13 15 -3rd- 16 17 -4th- 12 -OT1- -OT2- -OT3-	● 57	八戸学院
一部6位				一部5位



岩手大学

No.	S	選手名	PTS	3P FG		2P FG		FT		F	REBOUNDS			AS
				M	A	M	A	M	A		OR	DR	TOT	
8	*	佐々木優輝	7	0	1	3	5	1	1	2	2	5	0	1
1	*	三浦悠音	21	1	1	9	13	0	1	4	2	2	0	0
5		植田響	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–
10		戸田一茶	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–
11		加茂慈貴	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0
12		佐藤義章	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–
13	*	山口尚矢	6	0	3	2	8	2	3	1	1	2	0	1
15		伊藤結人	2	0	2	1	3	0	2	2	0	3	0	0
17		中村壮良	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–
18		金田竜弥	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–
24	*	和野恭吾	13	3	12	1	4	2	2	3	0	3	0	0
25		和島太陽	2	0	0	1	1	0	0	1	2	0	0	0
30		柴田誠史	16	2	3	5	13	0	0	1	0	2	2	1
55		齊藤啓	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–
0	*	多田優次朗	4	0	2	2	5	0	0	0	1	3	4	2
		TEAM											0	
		合　計	71	6	24	24	52	5	9	14	9	20	29	5
				25.0%		46.2%		55.6%						

八戸学院大学

No.	S	選手名	PTS	3P FG		2P FG		FT		F	REBOUNDS			AS
				M	A	M	A	M	A		OR	DR	TOT	
25	*	坂本蓮	9	0	0	4	7	1	2	0	8	5	13	0
1	*	芹川颯太	16	2	12	5	10	0	2	2	0	9	9	0
2		福島海弥	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–
7		加藤大成	10	0	0	3	7	4	6	3	3	4	7	0
8		工藤光聖	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–
11	*	工藤直人	0	0	3	0	2	0	0	2	0	2	2	0
14		伊藤　慈朗	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–
19		杉沢亮夢	6	0	0	3	5	0	0	2	2	3	5	0
21		長谷川凜	12	1	5	4	11	1	3	1	1	1	2	0
22		工藤由慎	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–
24		堀川聖弥	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–
43	*	佐藤走	2	0	0	1	2	0	0	0	3	3	6	1
46		外崎舜大	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–
48		杉本陽尋	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–
0	*	小松快	2	0	11	1	6	0	0	3	0	3	3	3
		TEAM											0	
		合　計	57	3	31	21	50	6	13	13	17	30	47	4
				9.7%		42.0%		46.2%						

PTS: ポイント　M: 成功　A: 試投　%: シュート率
FG: フィールドゴール　3P: 3ポイントシュート　2P: 2ポイントシュート　FT: フリースロー
F: ファール　OR: オフェンスリバウンド　DR: ディフェンスリバウンド　TOT: トータルリバウンド
AS: アシスト　S: スターター　OT: 延長

東北大学バスケットボール連盟

ゲームレポート

○第一クォーター
第1ピリオド　開始早々岩手大学＃1三浦が2Pを先制しそれに続き＃24和野のフリースロー、3Pと連続得点を奪う。その後も＃1三浦の3Pやドライブ、＃13山口のバスケットカウントで流れをつかむ。対する八戸学院大学は、＃1芹川が3Pを決めるもディフェンスでファールがかさみ、なかなか自分たちのペースをつかめずにいた。しかし、2年生の＃7加藤、＃19杉沢、＃21長谷川が交代後、果敢に攻め点数をもぎ取る。一度10点差が付いたものの、追い上げ20－16。岩手大学がリードして第1ピリオド終了。
○第二クォーター
第2ピリオド　八戸学院大学は序盤から厳しいディフェンスで岩手大学の攻めを封じる。それでも岩手大学はひるむことなく力強い攻めで点数をもぎ取っていく。＃30柴田が連続得点を奪い点数差を8点に広げ、八戸学院大学のタイムアウト。試合再開後八戸学院大学のミスが続き苦しい時間が続く。岩手大学は確実に点数を取り点数差を10点に広げ、39－29で第2ピリオド終了。
○第三クォーター
第3ピリオド　八戸学院大学＃1芹川がゴール下のシュートをねじ込み、そのプレーに引かれるように＃25坂本のリバウンドやポストプレーなど力強いプレーが炸裂した。岩手大学も負けじと対抗する。特に1年生＃1三浦の積極的な攻めが光った。残り3分＃43佐藤のスティールからの得点が決まり勢いがつく八戸学院大学。その後、＃25坂本がジャンプシュートを2本連続で決め流れをつかんだかと思ったが、岩手大学は簡単にリードを許さず9点差をつけ54－45で第3ピリオド終了。
○第四クォーター
第4ピリオド　序盤からミスが続いてしまう八戸学院大学。それを見逃さず攻め続ける岩手大学。その勢いに押されリードを広げられた八戸学院大学はすかさずタイムアウト。タイムアウト明けの＃0小松と＃1芹川のナイスプレーが決まり、＃21長谷川のバスケットカウントなど連続で得点を奪う。しかし、岩手大学の安定したオフェンスとリバウンドで八戸学院大学を乗せることはなかった。その後、両者なかなか得点が動かない時間が続いた。タイムアウト明け八戸学院大学が激しいディフェンスを仕掛けるもその圧に負けることなく攻める岩手大学。その確実に点数を取ることができる安定した得点力と、相手を封じるディフェンス力が好結果に結び付き71－57で勝利。
○総評
八戸学院大学と岩手大学の試合は、両者積極的な攻めが見られたが、八戸学院大学のミスを鋭く突く岩手大学の攻めや相手の流れを切るプレーが光った。八戸学院大学も果敢な攻めを見せるが、続くミスでなかなか流れをつかむことができず終始岩手大学にリードを許したまま試合終了のブザーが鳴り71－57で岩手大学が勝利した。

東北大学バスケットボール連盟